

令和 5 年 第 1 1 回

当別町教育委員会定例会議事録

当別町教育委員会

令和5年 第11回 当別町教育委員会定例会 議事録

日時 令和5年10月11日（水） 午後3時00分

場所 当別町役場3階中会議室

出席者 三澤教育長、武岡教育長職務代理者、小林委員、寺田委員、佐々木委員

出席職員 山田教育部長、高田学校教育課長、川村学校教育課参事、石川社会教育課長、大石子ども未来課長

傍聴者 なし

【開会宣言】 教育長	ただ今、委員全員出席しておりますので、これより令和5年 第11回当別町教育委員会定例会を開催いたします。
【傍聴確認】 教育長	傍聴の方はいらっしゃいますか。 傍聴がないということで、それでは早速議事に入りたいと思います。
【議事日程】 教育長	日程につきましては各委員に配付しております日程表により議事に入りたいと思います。
【日程第1】 教育長	報告第1号、令和5年度全国学力・学習状況調査結果報告書の作成について、事務局より説明願います。
教育部長	それでは報告第1号について説明いたします。 1 ページをご覧ください。令和5年度全国学力学習状況調査結果報告書について、令和5年4月18日実施の令和5年度全国学力学習状況調査について、当別町の調査分析結果を報告書にまとめたので、委員会へ報告するものでございます。詳細につきましては、学校教育課参事より説明いたします。
学校教育課参事	別冊「令和5年度 全国学力・学習状況調査報告書」をご高覧ください。 例年、小学校と中学校の分析を分けた形式としておりましたが、小中一貫教育を推進している当別町としては、別々の分析ではなく、小と中が比較できるように一つにまとめた形に変更をいたしました。こうすることで、公表した際にも小中一貫教育の特色が見えるだけでなく、より特色を出すことができると考えております。 1 ページには、本調査の目的、内容などを記載しております。改めて、この調査問題は、学習指導要領で目指す「知識及び技能や思考力、判断力、表現力等」を問う問題で、各問題において、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージが発信されております。 さて、分析について、2 ページをご高覧ください。結果概要とともに説明させていただきます。 1 の教科ごとの平均正答率は、当別町全体として、小学校の全科目及び中学校の英語で全国平均を上回り、中学校の国語においては全国平均との差が0.

1 ポイント、数学では2. 2ポイントと僅差になりました。

2の領域別の正答率につきましても、小学校で8領域、中学校で6領域が全国平均を上回りました。特に、昨年度の結果において、小学校で大きく改善が図られた国語「書くこと」領域では、各学校では、「書いた文章の感想や意見を他者と伝えあい、自分の文章の良いところを見つけるなどの学習活動の積み重ねの成果の表れだと考えています。また算数「図形」領域では、正方形の意味や性質についての理解であったり、複数の三角形について、面積の大小を判断するのに具体的な数値が示されていない問題であったことから、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見出したり、適当な数値をあてはめたりして考える日常的な授業実践の成果だと考えています。

中学校で大きく改善が図られたのは、国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」領域で、語句の理解や文脈に即した漢字を正しく使う学習指導の成果とともに、国語「書くこと」領域は昨年引き続き全国平均を上回っており、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことの小中一貫した系統だった指導の成果だと考えます。

英語「話すこと（やり取り）」領域では、町で独自配置しているALTや学力向上推進講師の英語の学習支援の成果の一つでもあり、また、各校が日頃よりスピーチやプレゼンなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動に取り組んできた成果の表れだと考えています。

また、各教科の無解答率は、全国平均よりも下回り、記述問題も含めて無解答者が少ない結果となりました。

3ページをご高覧ください。3の「全国下位約25%と同じ正答率の範囲に含まれる児童生徒の割合」（のびしろ層）は、小学校の国語・算数及び中学校の英語において、全国平均と比較して少なくなり、学力に課題が見られる「のびしろ層」の減少傾向が見られます。なお、今回の学力学習状況調査においては、当別町の教育施策の一つである英語力の向上が、見て取れる結果となりました。

4ページをご高覧ください。学習状況調査の状況の結果から生活習慣や学習環境等について、例年、全国と比較して特徴的な項目を掲載しております。

【生活習慣】では、朝食を毎日食べる習慣・規則正しい睡眠習慣については、小学校では昨年度の結果と比較しても、定着は進んでいる結果となっていますが、中学校では、起床時間の定着が見られるものの、就寝時刻が遅くなる傾向も影響し、朝食を食べる習慣の定着には課題が見える結果となっています。規則正しい生活習慣は、家庭の果たす役割が大きいため、学校としては、保護者への周知とともに地域のCSの協力を得た取組も含め、相互に連携を図っていくことが、今後強く求められていくと考えます。

5ページをご高覧ください。

【家庭学習】では、計画的な家庭学習習慣や読書週間は概ね定着している傾向です。

中学校に進学した際には、さらに学習時間が長くなり改善が見られるものの、小学校の家庭学習の学習時間の習慣は、その後の中学校にも影響をしている傾向が見られます。

引き続き、学校での継続的な指導とともに、家庭への啓発やAIドリルの活用など小さい頃からの習慣化を図っていく必要があります。

6ページをご高覧ください。

【自己有用感】では、質問項目からも小学校・中学校からも自己有用感が高まっている傾向にあります。特に小学校においては、昨年度の比較においても大きく向上しています。小学校での支持的風土のある学級・学年経営の成果でもあり、中学校でも引き続き継続的な取り組みが今後さらに効果を発揮すると思われま。また、「将来の夢を持った児童生徒の多さ」は、どうべつ未来学によるキャリア教育の成果等に繋がっていると思われま。

7ページをご高覧ください。

【授業改善】では、小中学校ともに、「主体的・対話的で深い学び」に関する項目において、全国平均を概ね上回っています。各校ともに「授業改革055」に向けた取り組みによる指導内容の工夫改善に努め、自ら学び深める授業への改善ができつつあります。

8、9ページをご高覧ください。

【各教科の授業】では、各教科の授業の内容について、よくわかると回答した児童生徒の割合が全国に比べても多い結果となりました。これは、教科の特質に応じた見方考え方を生かした学習活動や実践的な研修、学習評価を生かした指導改善などの取り組みにより、よくわかると回答した児童生徒の多さに結び付いたのではないかと考えています。

児童質問紙の④～⑥は、今回初めての質問項目です。中学校においては、学校質問紙において、教師側と生徒側の捉えに一部差が見られることから、指導の改善も含め、児童生徒の実態に寄り添った丁寧な指導の工夫が必要と考えています。

10ページをご高覧ください。

【ICT機器の利用】では、小学校においては、ICTの活用状況に課題が見られました。しかし、各校においては、令和5年度の取り組みとして、ICT利活用を積極的に進めるとともに、校務分掌にもしっかり位置付けるなど、町教委だけでなく、各校で効果的な活用に向けた研修に取り組んでおります。今後、大きく改善されることを期待しているところです。

また、端末の持ち帰りにおいても課題が見られますが、各校の管理職にも周知し、今後の端末持ち帰りを進めていくことを確認しているところです。

以上の結果を踏まえ、その改善策として、12ページ「当別町学力向上プラン」を基に、今後、各校の学校改善プランの推進を後押ししてまいります。

また、今年度、各校へ石狩教育局義務教育指導監が訪問された際に、当別の子どもたちはもっとできる。「対話を重視した学びの転換」については管理職

	<p>には周知されているが、先生方へしっかりと浸透させてほしいというお話も当別町への指導助言としていただいているところです。前回も申しましたが、当別町として、学力向上に向けた5つの課題のアプローチと、各校の実態に応じた詳細な分析による学力向上策を実効性あるものとしながら、今後の全国学力学習状況調査において全教科全国平均以上を目標に取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>以上で、報告書の説明といたします。なお、本報告書につきましては、本日の委員会でご承認をいただいたのち、HPで公表させていただきます。</p>
教育長	ご質問ありませんか。
小林委員	中学校の「英語の話すこと」について全国平均よりは高いが、正答率が低かった。問題の出題など受験環境が良くなかったなどがあれば教えてほしい。
学校教育課参事	「英語の話すこと」は、今回タブレット端末を初めて使用した。特に聞き取りの際に「英語の話すスピード」など難しいところがあったと考えられる。そのため全国的に点数が落ち込んでいる部分。しかし、当別の子どもたちは頑張っていてやっていたというふうに思っている。
小林委員	そういった環境だったということはこの資料にも書けばいいのではないかと。「英語の話すこと」で初めて導入されたわけだから、その部分はやはり大事だと思うし、親御さんなどにも説明するのは大事だと思う。問題としていたいわけではなく、状況がこういうことであつたということをつけ加えておいてもいいのではないかとということです。ただ必要なければ取り下げただいただいても構わない。
学校教育課参事	資料の中に記載することは可能ですので、町民の理解を得るという意味もあるため、資料中、結果の概要の中に書かせていただきます。
武岡教育長職務代理者	<p>まずはこの資料、大変整理が大変だったと思う。時間かかったと思う。ありがとうございました。</p> <p>国語のところこれからちゃんと指導するという話があつたが、学校の捉えと子どもの捉えにギャップがあるという説明について、全国平均では <b>83、86%</b> となっているが当別は全部 <b>100%</b> だ。ギャップがあるのはやはりおかしいなと感じる。子供の実態わかってないのではないかと捉えられても仕方がない。</p>
学校教育課参事	ギャップが生じないように、子どもの思いをしっかり受け止めて丁寧な指導をとということを周知しているところです。
武岡教育長職務代理者	(参事が定期発行している資料) ツナグ ood 通信の効果が高いのではないかと私は考えている。おそらく他の委員会ではやってないと思う。管理職もきちんとやっていこうという風にしていただけるとすごくいい。
学校教育課参事	思いにもよらず大変好評をいただいております、嬉しく思っている。管理職だけではなく先生方からも声をかけていただいている。今後も継続していきたい。
武岡教育長職務代理者	特に低学年はわからないことがあつた際に近くにタブレットがあればすぐに開いてどンドンやっていく。日常的にタブレットを身近に置いておけるよう

	<p>な環境にしてあげるといいと思っている。</p> <p>また、家に持って帰るという点は是非とも、壊れたら仕方がないという気持ちで、タブレットを持ち帰って自分でどんどん勉強できるようにしてあげたらいいなと思っている。</p>
学校教育課参事	<p>机にタブレットを入れている状態の児童が自らタブレットで調べて思考を膨らませている場面があった。さらに広めていきたいと考えている。</p> <p>持ち帰りについて、学校の管理職との会議の中でも議題にしており、重く受け止めていただいていると認識している。荷物の重さなどの課題もあるので、学校と連携を取りながら進めていきたい。</p>
教育長	<p>他にご質問ありませんか？</p> <p>無いようですので、以上で本件を終了いたします。</p> <p>(一同了承)</p>
【閉会宣言】 教育長	<p>以上で、令和5年第11回当別町教育委員会定例会を閉会いたします。</p>

閉会 午後3時33分

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

当別町教育委員会 教 育 長

教育長職務代理者